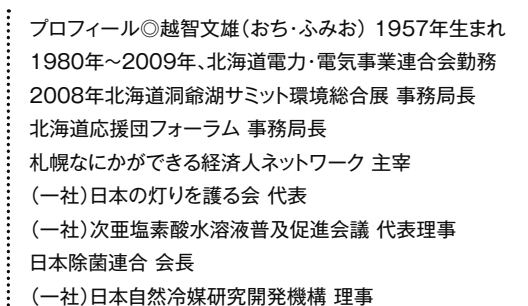


越智文雄氏



れた国際条約（水銀に関する水俣条約）に基づいています。蛍光灯には微量の水銀が含まれているため、この条約に基づき政府は2024年12月に2027年末をもって一般利用の蛍光灯を製造禁止することを閣議決定しました。国際的な環境保護の枠組みの中で決定された事項であり、延期や撤回は困難で期限は確実にやってくることを認識す

るべきです。高市早苗政権の台湾をめぐる発言から中国の日本の姿勢は硬化しており、渡航の禁止、水産物の輸出禁止、自衛隊機へのレーダー照射などエスカレートする中で次はアメリカの輸出禁止措置も危惧されています。中国がそのほとんどを保有しているLED発光ダイオードの原料であるレアウムの輸出が禁止された場合には、経済安全保全問題に発展する

により、政府は「あらかじめ計画」を閣議決定し、即ち家的なLED化によるレアウムの政策を進めようとした。民間では相当割合でLED化は進んでおり、2019年に既存照明の製造・販売を終了したことから、新築需要は100%LED化になっています。ただし、LED化を地域景観対策として公共建築事業の手法で行っている自治体のシステムでは、LED化がまだ進んでいない

まずは需給バランスの問題です。国内の蛍光灯対応型LEDの生産能力が、全国に残る蛍光灯の数と、全国にともなもなく大きなギャップがあります。蛍光灯対応LEDの昨年の国内生産量は約650万灯でしたが、全国では推定7億灯以上、蛍光灯はまだ使用されています。既に昨年10月現在で設置一体型のLED製品は今年の5月まで入手できないと言われており、今後もうLED照明の納期待ち、また長期化の年が待ち、1年待ちとなる事態も危惧されています。今安定器が切れた蛍光灯は半年間

―対応が遅れている自治体はどうか。きては、現状把握と計画策定です。各自治体が管理する施設の蛍光灯の数量、種類、優先順位を正確に把握し、最短期間でのLED化計画を立てる。ここから始める必要があります。自治体の完全LED化に向け、エネルギーコンサルタントの知見から、リースを活用した課題解決アプローチをおすすめします。左頁のプロローチにより、従来は不可能とされていた大規模LED化プロジェクトを、短期間で確実に実現できます。

―環境面でのメリットは、大幅な電力削減によるCO2排出量の削減が可能となり、自治体のカーボンニュートラル目標を、一気に達成させます。電気料金の削減範囲内で分割払いをするのですから、お金のかからないうえに、脱炭素戦略といえます。また、LED照明は発熱量が少ないため、特に夏季においては大空調負荷が軽減され、冷房費用の削減効果も期待できます。

―自治体の皆様へメッセージをお願いします。
「まだ2年ある」ではなく「もう2年しかない」と

リースを活用した一括LED化の流れとスケジュール

打ち合わせ(Webセミナー) → 照明配置図データ送信 → 試算結果説明 → 議会(臨時議会) → プロポーザル競争入札 → 基本契約 → 設備工事 → リース契約

1~3カ月 | 5年~10年

自治体一括LED化と空調の自然冷媒ガス交換に関するオンラインセミナーを開催します。
 財源確保、環境問題、地域活性化などに寄与する明るいまちづくりを目的にエネルギーコン
 サルタントの観点からアドバイスしています。民間企業・団体の方もお気軽にどうぞ。

セミナーコンテンツ

- ・2027年問題への対応策 ・電気料金高騰対策 ・脱炭素対策
- ・モノが足りなし、ヒトが足りなし、カネが足りなし
- ・図面かぎの試算方法 ・全国自治体試算例・注意点
- ・自然冷媒で電気料金半額 ・自然冷媒が又で温室効果ガスが削減
- ・法定点検が改正 ・設備寿命長期化 ・安全な低圧ガス

他あらゆる質問にお応えします。

セミナー開催スケジュールや受講のお申込みはこちらをご覧ください



公共単価積算

民間相場に

リースで10年分割

公共建築単価

10億円
単年度予算化不能

3.3億円
約3分の1に
(あくみらい試算)

リース支払額

電気料金削減額

3300万円/年
単年度予算化可能

※イメージ(10年分割の場合)

Diagram illustrating the cost structure and savings for LED lighting:

- 現状照明の場合 (Current Lighting Case):**
 - 修繕費 (Repair Costs)
 - 従来照明の電気料金 (Conventional Lighting Electricity Costs)
- LED照明化 (LED Lighting Conversion):**
 - 修繕費 削減 (Repair Costs Reduction)
 - 電気料金 削減 (Electricity Costs Reduction)
 - LED照明の電気料金 (LED Lighting Electricity Costs)
- 削減コストの一部を導入費に (Part of the Cost Reduction is Used for Introduction Fees):**
 - 財政メリット (Financial Merits)
 - LED照明 分割払いに充当 (LED Lighting Subsidies for Installment Payment)
 - LED照明の電気料金 (LED Lighting Electricity Costs)

Additional information at the bottom of the diagram:

- 初期費用 0円 (Initial Cost 0 Yen)
- 10年保証 (10-Year Warranty)
- 財政メリットが発生 (Financial Merits Occur)
- (10年分割の場合) (In the case of 10-year installment)
- 電気代削減の範囲内で支払うので新規負担なし (No new burden as payment is made within the range of electricity cost reduction)
- ※10年分割の場合 (※ In the case of 10-year installment)

照明配置圖

照明表圖

1. 100W 1000mm x 500mm	2. 100W 1000mm x 500mm	3. 100W 1000mm x 500mm	4. 100W 1000mm x 500mm	5. 100W 1000mm x 500mm
1. 100W 1000mm x 500mm	2. 100W 1000mm x 500mm	3. 100W 1000mm x 500mm	4. 100W 1000mm x 500mm	5. 100W 1000mm x 500mm
1. 100W 1000mm x 500mm	2. 100W 1000mm x 500mm	3. 100W 1000mm x 500mm	4. 100W 1000mm x 500mm	5. 100W 1000mm x 500mm
1. 100W 1000mm x 500mm	2. 100W 1000mm x 500mm	3. 100W 1000mm x 500mm	4. 100W 1000mm x 500mm	5. 100W 1000mm x 500mm

```
graph TD
    A[国内大手LED照明器具メーカー] --> B[国内大手リース会社  
地元リース会社]
    A --> C[地元電気工事業界]
    C --> D[施工・10年間メンテナンス]
    D --> E[施工]
    E --> F[LED工事統括管理]
    F --> G[LED化資材確保]
    G --> H[納品管理  
在庫管理]
    H --> I[10年間  
メーカー保証]
    I --> J[コストダウン  
大量一括発注]
    J --> K[国内大手LED照明器具メーカー]
    K --> L[リース契約  
10年後無償譲渡]
    L --> B
    B --> M[コンソーシアム契約]
    M --> N[株式会社あかりみらい]
    N --> O[オリジナルプログラムによる  
試算書提示]
    O --> P[特許取得]
    P --> Q[全国自治体]
    Q --> R[図面データ送付]
```

akarimiroi

 **0120-760-814**
フリーダイヤル受付(平日9時～17時30分)

検索

・【札幌本社】北海道札幌市北区北11条西2-2-17 セントラル札幌ビル4階
 ・【東京支社】東京都中央区日本橋室町1-2-6 日本橋大栄ビル7階
 ・【大阪支社】大阪府大阪市北区梅田2-2-2 ヒルトンプラザエストオフィスタワー18階
 ・【富山営業所】富山県富山市桜橋通り3-1 富山電気ビルディング本館2階
 ・【沖縄あかりのみい(株)】沖縄県那覇市久茂地2丁目1-95